

10の階層別研修を中心とした研修計画

【「松本市職員 心の健康づくり計画」より抜粋】

※ 【メンタルヘルスに関する職員研修計画】

必要とされる能力		職名	10の階層別研修	目 的
応用的能力	説明力 折衝調整力 政策決定力 構想力 リーダーシップ 危機管理能力	部長	部課長	管理監督者として、ラインケアを意識し、メンタルヘルスの正しい知識を習得するとともに、ストレス反応がおこるメカニズムについて学び、部下の心身の変調に気づき、その対応方法を習得する。また自信のセルフケア能力を養う。
		課長	① 新任課長	
		課長補佐	② 新任課長補佐	
		係長	③ 新任係長	
発展的能力	情報収集力 情報分析力 専門分野能力 政策立案能力 指導・育成能力 組織管理能力	主査	④ 新任主査	中堅職員としてコミュニケーション能力やコーチングなど「人の話を聴く技術」を身につけ、組織管理能力を養う。
		主任	⑤ 新任主任	中堅職員として、聴くこと（傾聴）と、伝えること（アサーション）の両方を学ぶことで、コミュニケーション能力のスキルアップを学ぶとともに問題解決能力を養う。
基礎的能力	接遇能力 理解力 基礎的事務能力 事務改善能力 チームワーク 対人関係能力	主事	⑥ 8年目研修	初級・中級職員として心の保持増進に勤めるとともに、セルフケア能力を身に付け、ストレスとうまく付き合う能力を学ぶとともに、伝えること（アサーション）能力を養いチームワークで仕事ができるスキルを学ぶ。
			⑦ 5年目研修	
		技師	⑧ 3年目研修	
			⑨ 2年目研修	
		事務員 技術員	⑩ 新規採用	新規採用職員として職場に慣れ、メンタルヘルスに対する正しい知識を学ぶ。
	※メンター研修	指導者	新規採用職員のメンター	業務や仕事の進め方を指導するとともにメンターとしての役割、相談役としての聴く力等を学ぶ。

☆10の階層別研修の他に、階層別研修対象者以外の職員が受講できるよう、「セルフケア研修」「管理監督者研修」を実施する。